



福岡医発第716号（地）  
平成23年 6月15日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会  
会 長 松 田 峻一良  
（ 公 印 省 略 ）

熊本市におけるヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチン同時接種後の死亡例について【情報提供】

熊本市内の医療機関において、任意接種であるヒブワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンの接種を受けた熊本市内の生後2ヶ月の男児が死亡した事例が6月13日に熊本市より別紙のとおり発表されましたのでお知らせいたします。

本報告を受けての対応について、福岡県保健医療介護部保健衛生課より厚生労働省に確認を行い、下記の回答がなされております。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただきますようお願い申し上げます。

#### 記

#### 【確認内容】

今回の事例については、医薬品医療機器総合機構で調査を行っており、国は情報収集を行った上で専門家の意見を仰ぐこととしているが、現時点では、対10万接種あたり死亡報告数が0.5を超えていない状況であるため、予防接種一時見合わせは行わない。

#### （参考）

○今後行われる「医薬品等安全対策部会安全対策調査会・子宮頸がん等ワクチン接種後副反応検討会」において、他の副反応報告と併せて評価を行うこととしており、事務連絡等の文書等について発出する予定はない。

○今後も、対10万接種あたり死亡報告数が0.5を超えない状況であれば、新たに死亡事例が発生した場合でも他の副反応報告と同様に「子宮頸がん等ワクチン接種後副反応検討会」で検討していく予定であり、個別のプレスリリースは行わない。

## 予防接種後の乳児の死亡事例について

### 概 要

熊本市内の医療機関において、任意接種であるヒブワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンの接種を受けた熊本市内の生後2ヶ月の男児が、翌日に死亡した事例があった旨 6 月 4 日、接種医療機関より報告がありました。

#### 1) 被接種者情報

熊本市内在住                               : 生後2ヶ月児 男児  
基礎疾患                                   : なし

#### 2) 予防接種の状況

接種日                                       : 平成 23 年 6 月 3 日（金）  
接種場所                                   : 熊本市内医療機関  
予防接種の種類                           : ヒブワクチンと小児用肺炎球菌ワクチン

#### 3) 死亡状況

死亡日時                                   : 平成 23 年 6 月 4 日（土）未明  
予防接種との因果関係                  : 不明

#### 4) その他

- ・死亡の原因は解剖所見にて「乳幼児突然死症候群疑い」との事
- ・本事例は国へ報告済み。
- ・現時点では、予防接種との因果関係は不明であるが、国（専門家・独立行政法人医薬品医療機器総合機構等）で調査を開始している。

※ お亡くなりになられた方及びご遺族のプライバシーに十分配慮いただきますようお願いいたします。